

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校エアコン整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	59
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	中学校校舎にエアコンを設置し、子供たちの安全で快適な教育環境を整える。
事業内容	・普通教室及び特別教室にエアコンを設置する。			
事業開始から現在までの状況変化	・平成25年度にエアコンの設計業務を実施し、平成26年度に設置工事を実施する。 ・設置年度からエアコンを最大限利用できるよう、7月までに各教室に設置する。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	エアコン設計委託実施校数			8	校		
	エアコン工事实施校数			0	校		
指標で表すことができない定性的な成果	エアコンの設置により快適な教育環境が確保でき、学力の向上が期待できる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・エアコンの設置には多額の費用が掛かることから国庫補助や起債を最大限活用し、一般財源を抑制する工夫が必要。 ・設計段階で機器に対する検証を十分にを行い、環境性能、省エネ、防災性等に配慮して機器の選定を行うことが必要。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				33,140,670			
事業費(b)(円)				31,920,000			
うち一般財源				31,920,000			
職員給与費(c)(円)				1,220,670			
人役・職員(人)				0.17			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.03			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】
今年度(H25)に実施した取り組み	【新規事務事業により記載なし】

取り組みの課題	エアコンの設置により電気代等の増加が予想されることから維持費を抑制していく工夫が必要。
今後の改善計画	学校関係者に対し、エアコンの利用指針等を示すことにより適切な運用を図る。